

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年11月11日
【四半期会計期間】	第32期第3四半期(自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)
【会社名】	日本ライトン株式会社
【英訳名】	LITE-ON JAPAN LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 又 川 鉄 男
【本店の所在の場所】	東京都千代田区外神田二丁目16番2号
【電話番号】	03(3258)6501(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 李 友 裕
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区外神田二丁目16番2号
【電話番号】	03(3258)6503
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 李 友 裕
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第 1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第 3 四半期連結 累計期間	第32期 第 3 四半期連結 累計期間	第31期
会計期間	自 平成27年 1月1日 至 平成27年 9月30日	自 平成28年 1月1日 至 平成28年 9月30日	自 平成27年 1月1日 至 平成27年 12月31日
売上高 (千円)	13,921,541	10,163,787	17,960,575
経常利益 (千円)	161,730	69,849	214,875
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	120,218	42,999	139,924
四半期包括利益又は 包括利益 (千円)	85,467	319,447	108,936
純資産額 (千円)	2,688,276	2,354,943	2,711,744
総資産額 (千円)	7,645,629	6,192,739	7,319,832
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	9.66	3.45	11.24
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	35.2	38.0	37.0

回次	第31期 第 3 四半期連結 会計期間	第32期 第 3 四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成27年 7月1日 至 平成27年 9月30日	自 平成28年 7月1日 至 平成28年 9月30日
1株当たり四半期純利益 金額 (円)	3.40	0.62

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 4 「企業統合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、第1四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、第1四半期連結会計期間より、連結子会社であった LITE-ON JAPAN (S) PTE. LTD. は清算したため、連結の範囲から除外いたしました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の概況

当第3四半期連結累計期間（平成28年1月1日～9月30日）におけるわが国の経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和を背景に、雇用・所得環境の改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移しました。一方、中国を始めとするアジア新興国の経済成長の減速懸念が広がっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、101億63百万円（前年同期比 37億57百万円 27.0%減）、売上総利益は10億76百万円（前年同期比 2億29百万円 17.6%減）となりました。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、それぞれ65百万円（前年同期比 1億10百万円 62.7%減）、69百万円（前年同期比 91百万円 56.8%減）、42百万円（前年同期比 77百万円 64.2%減）となりました。

(2) 財政状態の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に対して11億27百万円減少し、61億92百万円となりました。これは流動資産の現金及び預金が3億54百万円、受取手形及び売掛金が5億61百万円減少したのが主な要因であります。

負債合計は、7億70百万円減少し、38億37百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が4億91百万円、短期借入金が1億59百万円、1年内返済予定の長期借入金が76百万円、長期借入金が94百万円減少したのが主な要因であります。

純資産の部は、3億56百万円減少し、23億54百万円となりました。これは為替換算調整勘定が3億65百万円減少したのが主な要因であり、自己資本比率は38.0%となっております。

(3) 事業上及び財政上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当企業集団の事業上及び財政上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	25,000,000
計	25,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成28年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	12,451,300	12,451,300	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	完全議決権株式であり、権利 内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式であ り、単元株式数は100株であ ります。
計	12,451,300	12,451,300	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日	—	12,451,300	—	650,000	—	3,735

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成28年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	—	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,450,800	124,508	権利内容に何ら制限のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 500	—	—
発行済株式総数	12,451,300	—	—
総株主の議決権	—	124,508	—

（注）「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式70株が含まれております。

【自己株式等】

該当事項はありません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成28年7月1日から平成28年9月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成28年1月1日から平成28年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,743,045	2,388,079
受取手形及び売掛金	2,858,113	2,296,402
たな卸資産	758,020	754,502
その他	168,859	77,505
貸倒引当金	1,062	1,061
流動資産合計	6,526,975	5,515,428
固定資産		
有形固定資産	528,903	425,598
無形固定資産	16,616	12,955
投資その他の資産		
その他	566,815	565,336
貸倒引当金	319,479	326,579
投資その他の資産合計	247,335	238,756
固定資産合計	792,856	677,311
資産合計	7,319,832	6,192,739
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,351,693	2,859,923
短期借入金	361,830	202,240
1年内返済予定の長期借入金	208,152	131,503
未払法人税等	25,424	22,046
賞与引当金	-	40,514
役員賞与引当金	-	10,052
その他	255,529	267,977
流動負債合計	4,202,630	3,534,257
固定負債		
長期借入金	166,733	71,790
退職給付に係る負債	159,874	154,986
役員退職慰労引当金	38,931	38,931
資産除去債務	16,506	16,549
その他	23,410	21,280
固定負債合計	405,456	303,538
負債合計	4,608,087	3,837,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	650,000	650,000
資本剰余金	65,801	65,801
利益剰余金	1,883,705	1,889,351
自己株式	15	15
株主資本合計	2,599,491	2,605,137
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,104	4,508
為替換算調整勘定	146,254	219,510
退職給付に係る調整累計額	37,105	35,191
その他の包括利益累計額合計	112,252	250,193
純資産合計	2,711,744	2,354,943
負債純資産合計	7,319,832	6,192,739

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
売上高	13,921,541	10,163,787
売上原価	12,615,700	9,087,700
売上総利益	1,305,841	1,076,086
販売費及び一般管理費	1,129,324	1,010,213
営業利益	176,516	65,872
営業外収益		
受取利息	4,892	5,000
受取配当金	1,141	1,181
為替差益	-	1,186
その他	5,498	2,848
営業外収益合計	11,533	10,216
営業外費用		
支払利息	8,767	5,456
為替差損	16,005	-
その他	1,546	784
営業外費用合計	26,319	6,240
経常利益	161,730	69,849
特別利益		
固定資産売却益	89	-
投資有価証券売却益	-	3,600
子会社清算益	-	7,305
特別利益合計	89	10,905
税金等調整前四半期純利益	161,819	80,755
法人税、住民税及び事業税	41,823	44,046
法人税等調整額	222	6,290
法人税等合計	41,601	37,755
四半期純利益	120,218	42,999
親会社株主に帰属する四半期純利益	120,218	42,999

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	120,218	42,999
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,148	1,404
為替換算調整勘定	35,188	365,764
退職給付に係る調整額	1,587	1,914
その他の包括利益合計	34,750	362,446
四半期包括利益	85,467	319,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,467	319,447

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

LITE-ON JAPAN (S) PTE. LTD. は、清算のため、第 1 四半期連結会計期間から連結の範囲より除外しております。ただし、清算までの損益は四半期連結財務諸表に含めております。

(会計方針の変更等)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第 1 四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第 3 四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第 2 四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第 3 四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第 3 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 3 四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成27年 1 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
減価償却費	38,989千円	31,702千円

(株主資本等関係)

前第 3 四半期連結累計期間(自 平成27年 1 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年 3 月30日 定時株主総会	普通株式	37,353	3.00	平成26年12月31日	平成27年 3 月31日	資本剰余金

2. 基準日が当第 3 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 3 四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第 3 四半期連結累計期間(自 平成28年 1 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年 3 月30日 定時株主総会	普通株式	37,353	3.00	平成27年12月31日	平成28年 3 月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第 3 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 3 四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループの事業は、電子部品販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報については記載しておりません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	9円66銭	3円45銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	120,218	42,999
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	120,218	42,999
普通株式の期中平均株式数(株)	12,451,230	12,451,230

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年1月10日

日本ライトン株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 沼田 敦士 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 健夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている日本ライトン株式会社の平成28年1月1日から平成28年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成28年1月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、日本ライトン株式会社及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。